

# 草の根から市民と野党の共同を広げていこう

## 上越地区労連などが上越地区メーデー開催



第90回メーデーの上越集会在1日、高田の雁木通りプラザで行われました。市内各地から約70人が集いました。

オーパニングは歌声です。今回、歌声をリードしてくださったのはコーラスグループの人たちです。歌われた曲は、「折リ鶴」「翼をください」「友よ」「がんばろう」などおなじみの歌です。私も知っている曲は声を出して歌いました。

集会では、実行委員会を代表して布施辰夫地区労連議長が挨拶しました。

議長は「は、昨年改悪された労働基準法などについてふれると、ともに安倍政権が進める憲法改悪の動きについて、高田の雁木通りプラザで行われ、市内各地から約70人が集いました。日本共産党を代表して来賓挨拶したのは先の県議選をたたかった平良木哲也上越地区副委員長です。平良木副委員長は、選挙戦についてふれた後、「働くものごとんいじめ抜く政策がまかりとおっている。かつてなくひどい状況だ。みなさんとともにがんばる」とのべました。

市民連合・上越の共同代表、馬場秀幸弁護士は、「先の県議選結果は残念でならない。確実に言えることは、新編では草の根で頑張りたくない」と勝てないということだ」とのべ、参院選に向けての決意を語りました。

集会後、参加者は上越大通り、本町通りなどをパレードしました。小雨がピタリとやんで、とても歩きやすかったですね。本町通りでお店の人たちが手を振ってくださったのがうれしかったです。元気の出る集会、パレードとなりました。

上の写真は上越大通りの上越ケイガルビジョン付近を進行する先頭集団です。

## 市民から信頼される議会づくりが基本

市議会議員勉強会が4月25日、市役所にて行われました。今回の講師は龍谷大学の土山希美枝教授。演題は「議員定数・報酬の『理解と納得』を考える」でした。

講演を聴いて改めて確認できたのは、議会が何をしても、市民から信頼される議会づくりができていないと、市民から相手にされないということです。

議会・議員が市民にとって役に立っているのか。きちんと行政のチェックをしているのか。いい提案をし、行政に活かされているのか。「だれだれの質問が良くて、行政が動いた。こんな施策につながった」といった追跡記事も必要だという話はうなずけました。「市民からはプラスもマイナスも評価してもらえろ。叱る人もいれば、ほめる人もいる。それが大事ではないか」

「魅力ある議員が出ないと、議員になりたいという人は出てこない」という指摘もその通りだと思います。

このほか、「委員会が終わったら、ホワイトボードで、いい議論ができたかを委員会で確認する」などこれまでの常識では考えられない提案がいくつもされました。



【レンゲツツジ】再掲。ツツジ科の落葉低木。漢字で「蓮華躑躅」と書きます。毎年、同じ場所で咲くにもかかわらず、花の時期に初めて出合ったときはハッとします。花言葉は「溢れる向上心」です。5月5日、吉川区代石にて撮影。

# はしづめ法一の活動レポート

**No.1908 2019.5.12**  
 発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
 Tel 025-548-3628  
 通じないときは 090-5392-1961  
 E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp  
 URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見てある記」はこちら

橋爪法一 検索

# 草の根から市民と野党の共同を広げていこう

## 上越地区労連などが上越地区メーデー開催



第90回メーデーの上越集会在1日、高田の雁木通りプラザで行われました。市内各地から約70人が集いました。

オーパニングは歌声です。今回、歌声をリードしてくださったのはコーラスグループの人たちです。歌われた曲は、「折リ鶴」「翼をください」「友よ」「がんばろう」などおなじみの歌です。私も知っている曲は声を出して歌いました。

集会では、実行委員会を代表して布施辰夫地区労連議長が挨拶しました。

議長は「は、昨年改悪された労働基準法などについてふれると、ともに安倍政権が進める憲法改悪の動きについて、高田の雁木通りプラザで行われ、市内各地から約70人が集いました。日本共産党を代表して来賓挨拶したのは先月の県議選をたたかった平良木哲也上越地区副委員長です。平良木副委員長は、選挙戦についてふれた後、「働くものごとんいじめ抜く政策がまかりとおっている。かつてなくひどい状況だ。みなさんとともにがんばる」とのべました。

市民連合・上越の共同代表、馬場秀幸弁護士は、「先の県議選結果は残念でならない。確実に言えることは、新潟では草の根で頑張らないと勝てないということだ」とのべ、参院選に向けての決意を語りました。

集会後、参加者は上越大通り、本町通りなどをパレードしました。小雨がピタリとやんで、とても歩きやすかったですね。本町通りでお店の人たちが手を振ってくださったのがうれしかったです。元気の出る集会、パレードとなりました。

上の写真は上越大通りの上越ケイガルビジョン付近を進行する先頭集団です。

## 青空が広がるなかで旭新緑祭開催

旭新緑祭、今年は青空のもとで行われました。午前にブナ林散策コース、山菜採りコースで楽しみ、お昼からは大交流会でした。会場となった広場には130人くらい集まったのではないのでしょうか。大島区旭地区出身の人、上越市内の人、大島区と交流のある人などが集いました。

交流会で用意された食べ物は旭地区の女性陣のみなさんが頑張って作っていただきました。今回も豪快なウドの姿揚げ、コガミ、ヨモギ、タラの芽などの天ぷら、タケノコやニンジン、ジャガイモなどが入ったお汁、焼き肉、ワサビの漬け物をたっぷりいただきました。中でも、めずらしかったのは、嫁泣かせ（アキザリ）とツルニンジンの天ぷらです。嫁泣かせは揚げ方のせいから、からっと美味しくなっていました。ツルニンジンは初めて口にしようような気がします。

この日は気温が上昇し、25度近くになりました。山菜料理を食べてからは、木陰に入って従兄や大島区集落づくり推進員の飯塚さんなどと語りあいました。

交流会が終了したのは午後1時半過ぎです。私の親せき筋にあたる大島旭会の内山会長が閉会の挨拶をしました。楽しいイベントでしたね。



【レンゲツツジ】再掲。ツツジ科の落葉低木。漢字で「蓮華躑躅」と書きます。毎年、同じ場所で咲くにもかかわらず、花の時期に初めて出合ったときはハッとします。花言葉は「溢れる向上心」です。5月5日、吉川区代石にて撮影。

# はしづめ法一の活動レポート

**No.1908 2019.5.12**  
 発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
 Tel 025-548-3628  
 通じないときは 090-5392-1961  
 E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp  
 URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一 検索

# 春よ来い

## 第五五六回

### ちよっと失礼

五か月ぶりに孫のリヨウ君がわが家に帰ってきました。会わなかった期間がこれだけ長いと、いろんなところに孫の成長がみられてうれしいですね。

「リヨウ君、おーい、おじいちゃんだぞ」と声をかけると、「こんにちは」という言葉をすぐ返してきました。えらいぞ、えらい。数か月の間に、ちゃんと挨拶できるようになったのです。

わが家の居間に入ったリヨウ君、五分も経たないうちにオモチャ遊びを始めました。それを歓迎するかのようになり、わが家の柱時計が「ボンボンボン」と鳴り続け、午前一〇時を知らせました。

ジーシー。オモチャはトミカのタウン循環バスステーションでした。電池の力で動くようになっていきます。レーンのなかに何台もの自動車が入り、次々と押していきます。見ているこっちまで力が入ります。つい、「それ、頑張れ、頑張れ」と声を出してしまいます。

リヨウ君が来れば食べてもらおうと、買っておいだしたのはお菓子です。「リヨウ君、小浜屋の最新のお菓子食べるか。ブルーベリー入り、あん入り、どちらがいいでしょうか」と言うと、ブルーベリー入りの方に目が行きました。すかさず、おじいちゃんが「半分ずつ食べれば、どちらも食べられるよ」と言いました。

「いただきます」と言って食べ始めたリヨウ君、口の動かし方がいかにも美味しいものを食べているといった感じです。「どうだ、うまい？」と聞くとリヨウ君はうなずきました。リヨウ君の「いただきます」という言葉は初めて聞きました。うなずく姿も初めてです。

調子に乗った私は、「今度、何が食べたんですか」と質問しました。リヨウ君が

黙っているの、「ビールか？」と言ったら、白けた雰囲気になってしまいました。

ほぼ恒例となったジャンケンポン遊びもしました。「最初はグー、ジャンケンポン」。リヨウ君はグー、私はチョキでリヨウ君の勝ちです。何度かやりましたが、リヨウ君は私よりもワントテンポ遅らせて手を出すので、必ず勝ちます。そこで、意地悪なおじいちゃんは、リヨウ君よりもちよっとだけ遅く手を出し、勝ちました。

この日、私はリヨウ君に次々と質問を浴びせました。

「はい、リヨウ君、カメさんとウサギさん、競争すると、どちらが勝つでしょう」「カメさん」

「よくできました。それではネコさんと豚さんが競争すると、どちらが早いでしょうか」

「豚さんです」

まだ三歳とはいえ、なかなかです。こちらが少しでも気をゆるめると負けそうです。そここうしているうちに、リヨウ君は再びオモチャ遊びを再開しました。

ジーシー。おーい、渋滞だ。リヨウ君、救急車、優先してください。そう言うとうと、そばにいた家族の者も「渋滞の緩和をお願いします」。みんな「いいえ」です。

救急車がレーンから落ちそうになったので、止めようとしたら、リヨウ君が「停止じゃない」と言ってきました。もう、「停止」という言葉を使うのにはびっくりでした。でも、もっと驚いたのは、「ちよっと失礼」という言葉、何回も使っていました。いったいどこで覚えたのでしょうか。

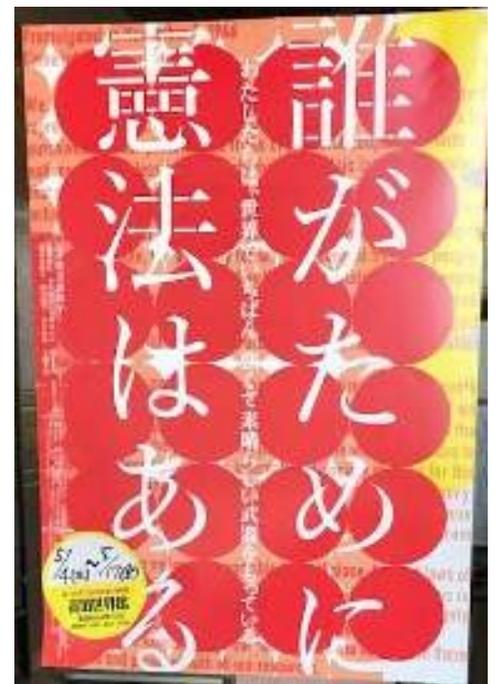
この日は快晴。私は、次男夫婦などと長峰池に出かけ、リヨウ君と外遊びも楽しみました。タンポポなどの野の花が沢山咲いていましたし、カナチョロもいましたよ。

## 平和は日常のごく当たり前のことができること

高田世界館で上映されている映画、「誰がために憲法はある」をみてきました。

瘦辺美佐子さんなどの女優さんが登場し、平和への思いを込めた朗読をするとともに、それぞれの思いを語る。そこには、「平和は日常のごく当たり前のことができること」「平和の仕事は休んではならない」など学ぶべきことがたくさんありました。

映画では瘦辺さんがヒマワリの花を持って広島市の爆心地の慰霊碑を訪ね、その裏側に刻まれた初恋の人の名前に触れる場面がありました。今度、広島へ行ったら、この慰霊碑の名前、見てみたいと思います。



この映画は17日まで上映されます。憲法が議論されているいま、ぜひご覧になってください。

## ニュースフラッシュ

### 上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	4月24日(水)	5月8日(水)
上越南消防署	0.047	0.047
上越北消防署	0.050	0.043
新井消防署	0.047	0.043
頸北消防署	0.047	0.040
頸南消防署	0.060	0.050
東頸消防署	0.050	0.050
高士分遣所	0.050	0.047
名立分遣所	0.043	0.050



第48回日本漫画家協会賞コミック部門大賞を受賞した山田参助の『あれよ星屑』(角川)の模写です。